

## 講座・イベントの ごあんない

イベント

日時

### ■ミライカナエル活動サポート事業 申請受付期間

4月25日(金)～5月12日(月) 正午

### ■ミライカナエル活動サポート事業 募集説明会

4月18日・22日・24日

### ■市民活動推進センター 休館日変更

4月29日から30日へ・5月6日から7日へ

### ■市民活動プラザむつあい 休館日変更

5月5日から6日へ

NEW!

## 支援施設からのお知らせ

■ミライカナエル活動サポート事業 提案事業募集について  
藤沢市では、市民や学生、NPO 法人などによる、課題解決に取り組む市民活動の活動費を助成する「ミライカナエル活動サポート事業」の提案事業を募集します。設立間もない市民活動団体が対象のスタート支援コース(上限5万円)、さらなる成長をめざす市民活動団体に特化したステップアップ支援コース(上限10万円)の2つのコースで募集を行います。応募前にぜひ募集説明会や事前相談にお申込みください。詳細は、藤沢市ホームページをご覧ください。

#### 1 募集説明会(全3回・内容同じ)

Zoom 開催(自宅から参加 OK)。視聴会場もあり。

【第1回】4月18日(金) 午前10時～

視聴会場: 藤沢市市民活動推進センター(会場定員: 先着30人)

【第2回】4月22日(火) 午後2時～

視聴会場: 藤沢市市民活動プラザむつあい(会場定員: 先着10人)

【第3回】4月24日(木) 午後7時～

視聴会場: 藤沢市市民活動推進センター(会場定員: 先着30人)

各開催日の2日前までに、電子申請(市HPにURLあり)で申し込み、または電話で次の①～⑧を藤沢市役所 市民自治推進課まで。

①申込者氏名 ②団体名 ③参加日 ④参加方法(Zoom又は会場視聴)  
⑤参加人数 ⑥連絡先電話番号 ⑦連絡先メールアドレス ⑧説明会を何で知ったか

#### 2 事前相談(要予約)

申請する事業の内容や書類の書き方などの個別相談を受け付けます。電話・メールで予約してください。市民自治推進課または市民活動支援施設で相談できます。

#### 3 申請受付期間 2025年4月25日(金)～5月12日(月) 正午

#### 4 問い合わせ

藤沢市役所 市民自治推進課  
TEL 0466-50-3516  
FAX 0466-50-8407  
E-mail fj1-jiti-s2@city.fujisawa.lg.jp



### ■市民活動推進センター 休館日変更

「市民活動推進センター」は、昭和の日・こどもの日の振替休日のため2025年4月29日(火・祝)、5月6日(火・祝)を開館日といたします。それぞれ翌日の4月30日(水)、5月7日(水)が休館日となります。ご注意ください。

開館: 2025年4月29日、5月6日(いずれも火曜日)

休館: 2025年4月30日、5月7日(いずれも水曜日)



### ■市民活動プラザむつあい 休館日変更

「市民活動プラザむつあい」は、こどもの日のため2025年5月5日(月・祝)を開館日といたします。翌日の5月6日(火)が休館日となります。ご注意ください。

開館: 2025年5月5日(月曜日)

休館: 2025年5月6日(火曜日)



発行: 藤沢市市民活動支援施設

本館: 市民活動推進センター

開館時間 9:00～22:00 火曜休館

※日・祝は9:00～20:00

〒251-0052

神奈川県藤沢市藤沢1031 アーバンセンター藤沢2F

TEL: 0466-54-4510 FAX: 0466-54-4516

Eメール: f-npoc@shonanfujisawa.com

編集: 認定NPO法人 藤沢市市民活動推進機構(藤沢市市民活動支援施設 指定管理団体)

※この情報誌は、サポートクラブのメンバーのご協力により、皆さまのお手元に届いております。サポーターも随時募集中です!



分館: 市民活動プラザむつあい

開館時間 9:00～17:00 月曜休館

〒252-0813

神奈川県藤沢市亀井野4-8-1 六会市民センター2階

TEL&FAX: 0466-81-0222

Eメール: f-npoplaza@shonanfujisawa.com



藤沢市市民活動支援施設情報誌「エフ・ウェーブ」

## 特集: サポート活動の現場から



今回は、藤沢市市民活動支援施設の取り組みを様々な面でサポートしてくださっている「サポートクラブ」の活動と参加したサポーターさんからの感想をお届けします。これからボランティアをしてみたい、団体に直接アクセスする前にお試しで活動してみたいなど、サポートクラブははじめての一步の場にもなっています。ご紹介するのは、3月1日(土)に実施した「外国人の日本語スピーチ大会」にて運営のサポートをしてくださったサポーターさんたちの感想です。ボランティアで得られる楽しさやどんな視点で活動しているかなど、ぜひご参考にしてみてください。

※「外国人の日本語スピーチ大会 in 湘南台」は、市内の外国籍

に関わる方々や支えている市民活動団体の活動を広く理解していただき、多文化共生社会を目指す機会としています。10回目となる今回は各団体に日本語を学ばれている12名からテーマに沿ってスピーチをして、日ごろの日本語学習の成果を発表しました。

### ■中村渚さん(司会進行)

発表の中で踊りを披露される方や、アニメキャラの仮装をされている方など、皆さんそれぞれの色があり、発表に対する熱い気持ちがこもっている素敵なスピーチを聞かせていただけてとても面白く、楽しい時間でした。(次ページに続く)



## サポート活動の現場から



母国の踊りを披露してくれていたり日本と母国の文化の違いなどを話してくれることで私も発表者のみなさんの国のことを知れて嬉しかったです。スピーチ大会を通じて改めて、言語をきっかけとしてつながれることは素敵なことだなと感じさせられました。

### ■山本千晴さん（進行補助）

今回、初めてスピーチ大会を聞きに参加しましたが、スピーチを通して、母国と日本の違いや、外国の方から見た日本について知ることができ、大変興味深かったです。また、スピーチをするにあたって、オリジナルの衣装を着たり、踊りを披露したりと様々な工夫がされていました。日本在住歴や日本語の学習期間は様々でしたが、皆さんの「伝えたい!」という真っ直ぐな気持ちが伝わってきて、こちらが勉強になることばかりでした。来年のスピーチ大会も楽しみです。

### ■工藤佳奈さん（受付、会場設営撤去）

外国人による日本語スピーチ大会を観覧し、日本語を学ぶ人々の熱意と努力に深く感銘を受けた。私が思っていた以上に多様な国籍の参加者が集い、それぞれが流暢な日本語で自らの思いを語る姿は非常に印象的だった。発音の正確さだけでなく、表現の豊かさや聴衆を引き込む話し方にも驚かされた。また、スピーチ後に会場全体が温かい拍手や歓声に包まれる様子から、学びを共有することの喜びや、指導者と生徒の強い絆を感じることができた。

### ■笹井美杏さん（受付、会場設営撤去）

2年前にボランティア参加のお誘いをいただいて以来、ずっと気になっていましたが、予定が合わず参加できずにいました。今回、初めて参加できたことを嬉しく思います。イベントでは、日本に暮らす外国人の方々のお話を聞く中で、それぞれのストーリーを共有できただけでなく、普段意識することのない日本語の難しさや日本文化の特徴を改めて言語化して認識する機会となり、とても興味深かったです。準備や撤収作業については、最初に資料を見た際、各団体から1名ずつ配置するよりも、1団体ごとにまとめたほうが効率的ではないかと感じました。しかし、実際に活動する中で、団体間の良いコミュニケーションの場となっていることに気づき、意義のある取り組みだと感じました。最後に、ダンスを教えていただいたことがとても楽しかったです。



4人のサポーターの方々からいただいたご感想をご紹介します。それぞれの役割を担いながらも企画自体を楽しんでいたりと、学びや気づきがあった様子などを寄せてくださったこと、この場を借りて御礼申し上げます。こうした感想からボランティアやサポートクラブに興味関心をお持ちになりましたら、ぜひ推進センター・プラザむつあいにご相談ください。

（取材と記事作成：市民活動プラザむつあい）

## 団体紹介

### 藤沢市市民活動支援施設 サポートクラブ

【設立】2002年7月

【連絡先】〒251-0052

藤沢市藤沢1031

アーバンセンター藤沢 2F

0466-54-4510

<https://fujisawa-npo.jp/about/supporter>

支援施設サポートクラブは支援施設サポーターの集まりで、市民活動のサポートをしたい方、市民活動に興味がある方たちがサポーターとして登録しています。

できる事をできる範囲で関わりながら、市民活動について知ることができます。

この取り組みを通じて、市民活動支援施設だけでなく、地域社会や地域で活躍する市民活動団体で、活躍する人材が増えることを願います。

サポーターに登録をご希望される方は、左記webページからお申込みください。



## 市民活動推進センター新センター長からのご挨拶

この度、藤沢市市民活動推進センターのセンター長に就任いたしました永山愛（ながやま あい）と申します。みなさまにおかれましては、日頃より当センターへのご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

私は大学生の頃からボランティアとして関わり、2014年に新卒で入職し、この4月で12年目を迎えました。今までは学生向けのNPOインターンシッププログラムの事務局、クラウドファンディングの起案サポート、藤沢市民まつりなどのイベントの企画運営や地域のイベントでのボランティアコーディネートなど、指定管理者である法人の事業を主に担当してまいりました。

日々、NPO・市民活動に勤しむみなさまと接していく中で、地域や社会課題に取り組んで新しい道を切り開いていく様子や、地道にコツコツと活動を継続しているみなさまを見て、新しい視点での考え方や元気をいただいている、「もっと頑張ろう!」と日頃感じております。

幼少期から過ごしてきている藤沢は、大事な思い出がたくさん詰まっている好きな場所です。そんな地元藤沢の地でセンター長という大役をいただき、緊張もありますがより良い施設にしていけたらと考えております。

今までの経験を活かして、みなさまが大事にしている想いに寄り添って背中を

そっと一押しとなるようなサポートを目指し、みなさまに愛される施設であり続けられるよう精進して参りたいと思います。まだまだ未熟者ですが、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

市民活動推進センター  
センター長 永山 愛



## 春が来る



暑い夏が予想以上に長く続いたその先に、一気に寒い冬がきました。そして3月は、寒いと思ったら、夏が来たりして、何とも落ち着かない1年でした。それでも、庭の梅の木は満開になり、鳥たちの格好のえさ場となっていました。今は明るい緑の新芽がスクスクと芽吹き太陽に向かって目を覚ます気配です。

誰にでも節目の年はあるもので、もしかしたら、2024年は私にとって大きな節目となった年となりました。10年間お世話になったお仕事を卒業することが決まりました。大変さみしい気持ちはあるものの、終わらなければ始まりは来ないという考えのもと、再び新しいことにチャレンジできると思うと、例年になくワクワクした気持ちが湧いてくる実感が体全体を包んでいます。物事の継続性や持続性はとても大切ではありますが、そこに必要以上の執着は必要ないのかもしれませんが。最近の活動相談では、組織の解散や変更、合併など、ともすれば、ネガティブな相談に見られがちな案件が見受けられます。しかしながら、ご相談を持ち掛けている皆さんは、現状を憂うことなく、先の楽しい未来を目指して一歩前に動き出すための前向き相

談にされている傾向があります。

私自身も、10数年前に卒業した社会教育委員を再度お引き受けし、社会教育と生涯学習のあり方を今一度考え直し、市民が望む社会を自らの手で創り出そうとする、いわゆる市民活動を正面から捉えなおし、今後の支援活動への礎にできると良いと考えています。とあるきっかけで、教育心理学という学問と出会いました。そもそも、社会学や福祉、心理学などの知識がほとんどないままに走り抜けてきましたので、少し落ち着いてそれらの学習を自主的に進めていきたいとも考えています。

茶道や武道の修行のプロセスを表す言葉として使われている「守破離」という言葉があります。物事の型を知り、その型を破るように発展させ、独自のスタイルを活率していくことだと言います。やはり一旦型を理解しなければ、次の一手は見つかりません。ひとりのアクターとして学び直しが必要な時を迎えた2024年度でした。桜ももうすぐ満開になります。しばらくお花見もしていませんでしたので、新しい年度の幕開けに乗じて、久しぶりに満開の桜を見に出かけようと思います。（て）